＜様式１＞　管理運営状況評価書
【対象年度：令和５年度】　（　⑤その他の施設　）

　　は選択入力項目　　は自動計算のため入力不要

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、％、円、日）

施設名	22世紀の丘公園	担当課名	維持管理課	担当係名	公園緑化係

区分		内容 ・ 説明	
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市都市公園条例及び掛川市都市公園条例施行規則	
	(2) 施設設置目的	「ゆっくり、じっくり、森づくり、みんなが集まる手作りの公園」を基本理念とし、将来に永く残せる、掛川らしい里山・里地の四季の景観づくりを目指している。	
	(3) 施設が有する設備、機能の概要	公園面積20.8ha（開園面積8.7ha）研修棟1棟　芝生広場　多目的広場　大型遊具　小型遊具　炭焼き施設　調整池　修景池　駐車場 コミュニティ施設（たまりーな）　大研修室(264.35㎡)　多目的室(108.38㎡)　研修室１・２（75㎡）　研修室３（56.25㎡）　和室研修室（77.07㎡） 工作室（73.87㎡）　ボランティア室　図書ラウンジ　休憩コーナー　プール（20m×10m）　温浴施設(男女)	
	(4) 施設建設年度	平成19年度	
	(5) 耐震性能の有無	あり	
	(6) 将来予想される改修経費（想定年度と費用見込み）	遊具改修工事	園路改修工事
		たまりーな施設の外壁工事	空調機改修工事
		公園用給水ポンプユニット改修工事	プール・温浴施設部分の室内遊び場への再整備工事
	(7) 指定管理者名	中部ビル保善株式会社	
	(8) 指定期間	令和5年　4月1日　から　令和7年　3月31日　まで	
	(9) 債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり　☐ 設定なし　※設定ありの場合、（期間　令和5年度　～　令和7年　）（限度額　129583　千円）	
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営	
	(11)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。	
	(12)その他事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。	
	(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり（地自法第244条の2第7項による提出義務）　☐ 提出なし	
	(14)利用者満足度調査等実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合、（直近の実施年度　令和　4　年度）	

区分			R03実績	R04実績	R05実績	R06当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数	（目標値）	160,000	160,000	160,000	125,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		（実績値）	104,255	95,892	79,624		
	内訳（施設・設備ごと）	研修室	28,383	33,528	36,317		
		プール・浴室	18,721	12,817	0		令和4年11月16日から温水プール・温浴施設営業停止
		グラウンドゴルフ	1,097	616	482		
		その他（遠足等）	1,309	1,949	1,599		
		遊びの里・芝生広場	54,745	46,982	41,226		
	(2)稼働率（利用率）						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・設備ごと）	研修室合計（定員 387人）	A平日昼間	49.5%	56.1%	59.8%	A 12ヶ月平日昼間の稼働件数合計/（14*12ヶ月稼働日数） B 12ヶ月平日夜間の稼働件数合計/（7*12ヶ月稼働日数） C 12ヶ月休日昼間の稼働件数合計/（14*12ヶ月稼働日数） D 12ヶ月休日夜間の稼働件数合計/（7*12ヶ月稼働日数） 研修室が7部屋あり日中はAM・PMとあるので（7*2＝14） 夜間は時間帯が1パターンなので7
			B平日夜間	10.7%	10.6%	11.4%	
			C土日祝昼間	34.5%	45.3%	49.8%	
			D土日祝夜間	7.1%	10.1%	12.3%	
		大研修室（定員 150人）	A平日昼間	52.4%	57.0%	62.2%	A 12ヶ月平日昼間の稼働件数合計/（2*12ヶ月稼働日数） B 12ヶ月平日夜間の稼働件数合計/12ヶ月稼働日数 C 12ヶ月休日昼間の稼働件数合計/（2*12ヶ月稼働日数） D 12ヶ月休日夜間の稼働件数合計/12ヶ月稼働日数 平日研修室はAM・PMとあるので稼働日数に*2をする
			B平日夜間	9.2%	6.5%	7.4%	
			C土日祝昼間	34.6%	49.6%	48.3%	
			D土日祝夜間	2.6%	6.0%	4.3%	
		研修室 1（定員 36人）	A平日昼間	53.8%	54.3%	56.1%	
			B平日夜間	13.5%	10.8%	10.6%	
			C土日祝昼間	40.2%	49.6%	48.3%	
			D土日祝夜間	6.8%	4.3%	4.3%	

2 利用状況	（施設・設備ごと）	研修室 2 （定員 36人）	A平日昼間	51.6%	64.3%	65.2%		
			B平日夜間	3.2%	3.2%	5.9%		
			C土日祝昼間	27.8%	45.7%	52.6%		
			D土日祝夜間	3.4%	5.1%	3.5%		
		研修室 3 （定員 27人）	A平日昼間	60.3%	58.1%	69.1%		
			B平日夜間	13.5%	26.5%	12.8%		
			C土日祝昼間	54.7%	63.7%	63.0%		
			D土日祝夜間	35.9%	42.7%	54.8%		
		多目的ホール （定員 66人）	A平日昼間	29.7%	60.0%	70.7%		
			B平日夜間	10.8%	20.0%	38.8%		
			C土日祝昼間	11.5%	48.3%	61.3%		
			D土日祝夜間	0.0%	9.4%	11.3%		
		和室研修室 （定員 36人）	A平日昼間	61.6%	44.3%	45.2%		
			B平日夜間	24.9%	5.9%	2.1%		
			C土日祝昼間	40.2%	23.9%	41.3%		
			D土日祝夜間	0.9%	3.4%	4.3%		
		工作室 （定員 36人）	A平日昼間	37.3%	44.3%	50.0%		
			B平日夜間	0.0%	1.1%	2.1%		
			C土日祝昼間	32.5%	36.3%	41.3%		
			D土日祝夜間	0.0%	0.0%	4.3%		

区分			R03実績	R04実績	R05実績	R06当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名		西東石油株式会社	西東石油株式会社			※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		403	453	408		
	(3)運営日数		302	302	303		
	(4)運営人員	①正規職員	3.0	3.0	2.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	18.0	17.0	12.0		

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報

（単位：円、％）

区分		R03決算額	R04決算額	R05決算額	R06当初予算額	備考
(1)運営コスト（A）	①人件費	35,556,277	37,812,089	26,267,981	26,028,000	
	②印刷費	0	0	0	0	
	③通信費	314,012	331,508	281,096	451,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	1,888,032	1,373,231	1,303,870	770,000	
	⑤借上料	0	0	293,814	242,000	
	⑥保険料、消費税（租税公課）等	3,754,456	3,552,240	3,624,706	3,042,800	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	528,689	413,549	681,980	187,000	
	計	42,041,466	43,482,617	32,453,447	30,720,800	
	対前年度増減率		3.4	△ 25.4	△ 5.3	
区分		R03決算額	R04決算額	R05決算額	R06当初予算額	備考
(2)施設コスト（B）	①管理委託費(外注費)	7,215,552	7,215,552	7,875,560	7,875,560	
	植栽管理	7,039,992	7,039,992	7,700,000	7,700,000	
	機械警備	175,560	175,560	175,560	175,560	
	②修繕費	92,976	100,100	206,800	330,000	
	③光熱水費	16,831,036	17,693,524	10,310,723	10,230,000	
	④燃料費	128,611	262,675	32,080	99,000	
	⑤清掃費	0	0	0		
	⑥保守点検費	5,170,000	5,170,000	3,919,134	4,408,140	
	⑦その他(施設消耗品)	2,318,948	2,804,640	1,049,430	671,000	
	計	31,757,123	33,246,491	23,393,727	23,613,700	
	対前年度増減率		4.7	△ 29.6	0.9	
(3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B）		73,798,589	76,729,108	55,847,174	54,334,500	
(4)合計のうち運営コストの割合		57.0	56.7	58.1	56.5	
(5)施設の収入　※1）下記3に入力する		8,917,810	6,899,060	2,211,150		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		21.2	15.9	6.8		

Ⅲ　収支差額の状況　　注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設　　（単位：円）

区分	R03決算額	R04決算額	R05決算額	備考
a) 施設使用料収入	8,917,810	6,899,060	2,211,150	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	71,042,000	71,042,000	55,808,500	
収支差額　a)－b)	△ 62,124,190	△ 64,142,940	△ 53,597,350	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区分	R03決算額	R04決算額	R05決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額（ a－トータルコスト）				
c)　bに対する市の支出額（指定管理料）				

(3)自主事業及びその他事業の状況　　（単位：円）

区分	R03決算額	R04決算額	R05決算額	備考
a) 自主事業の収入	12,119,710	11,626,349	11,581,586	
b) 自主事業の支出	7,028,112	8,842,061	7,926,321	
収支差額　a)－b)	5,091,598	2,784,288	3,655,265	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額　c)－d)	0	0	0	

Ⅳ 担当課による評価

（1）施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

（2）協定書に記載した業務要求水準の達成度　＜達成　3点、8割達成　2点、6割達成　1点、6割以下の達成度　0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	80	90.1	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
B サービス内容の満足度	80	86.6	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
C 従業員応対の満足度	80	83.7	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
D 施設安全対策の満足度	80	86.1	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
E 美観・清潔感の満足度	80	87.4	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
F 施設の利用者数	160000	79624	1	【達成できていない点・主な課題】 ・温水プール、温浴施設の営業停止（R4.11.16から） 【いつまでに、どのように対応するか】 ・たまり一な再整備（室内遊び場）事業による令和7年度から営業開始の準備

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

（3）収支の改善状況　※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

（4）安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

（5）本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	【達成できていない点・主な課題】 ・たまりーなは、老人福祉センター機能を有しており、社会福祉協議会が研修室等を無料で優先利用している。そのなかで、使用料収入を増やすことが困難である。又、施設の半分は、たまりーな再整備により、温水プール、温浴施設の営業停止（R4.11.16から）状態である。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・公園管理担当課と、福祉担当課にて、最適な公園運営体制について協議をおこなう。研修室等の優先予約について、市・指定管理者・社会福祉協
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

（6）総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	30	／33

Ⅴ　その他自由意見